

アンケートへのご回答のお願い

突然のお願いで失礼いたします。

この度脊髄損傷、頸髄損傷の方の排泄に関して調査することといたしました。皆様ご存じのように脊髄損傷、頸髄損傷には「膀胱直腸障害」という脊髄を損傷したことによる排泄の障害が生じます。そのために自己導尿をしたり、座薬や下剤を使った排便が必要になってきます。

失禁を恐れておむつを使ったりする一方で、尿が溜まってきたのに排尿することができないということがあります。そのことによって自律神経過反射（汗が出たり頭痛がしたり、鳥肌が立ったり、血圧が上昇したりします）を起こすことがあります。排便に何時間もかけるといふ方もいらっしゃいます。一旦下痢をすると失禁するという方が殆どです。

このようなことから、排泄に時間を取られたり、外出を控たりと生活に支障をきたすことも多いかと思えます。

そこでこの度国立障害者リハビリテーションセンターリハビリテーション科医師飛松好子を研究代表者として、脊髄損傷者の排泄に実態調査を行うこととしました。

研究協力についての説明書をお読みになり、研究にご協力いただける場合には研究協力の同意書にご署名下さい。

ご回答いただいたアンケート用紙とともにご返送下さるようお願い申し上げます。

もしも誤って同意書のみをご返送された場合には再度アンケート用紙をお送りします。その後ご返送がない場合には同意を撤回されたものと見なします（説明書にも書きましたが、そのことによって何らかの不利益が生じることはありませんのでご安心下さい。）

ご回答いただいたアンケート用紙のみをご送付いただいた場合には再度同意書をお送りいたしますので、ご返送下さい。同意書のない場合には、貴重なご回答内容を破棄することとなりますので、同意書と回答用紙とを合わせてお送り下さいますようお願いいたします。

以上よろしくお願い申し上げます。

国立障害者リハビリテーションセンターリハビリテーション科医師 飛松好子

研究協力についての説明書

「脊髄損傷者の排泄が生活に及ぼす影響」に関するアンケート調査へのご協力のお願い

調査目的；脊髄損傷となられた方は「膀胱直腸障害」という脊髄を損傷したことによる排泄の障害が生じます。そのことによって時間を取られたり、外出を控えるなどの生活への影響が考えられます。どのような、そしてどのくらい生活に影響しているのかを調べるのが本調査の目的です。この調査結果に基づき、必要な対策を提言します。

調査対象；当院泌尿器科におかかりの脊髄完全損傷、頸髄完全損傷の方で、20歳以上70歳未満、脳損傷や、切断等、重複して障害のない方を対象としています。

お願いすること；同封するアンケートにお答え下さい。調査結果が研究のこと以外の目的で使用されることはありません。発表の際には個人が特定できない形で発表いたします。将来同じ様な研究を行うときに集められたデータを個人が特定できない形で再利用することがあります。

同意書と回答用紙の両方をお送り下さい。一方のみの場合には貴重な回答を利用することができませんので、両方を送って下さるようお願いいたします。

研究協力について；この研究の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける方は同意書へのご署名をお願いいたします。回答用紙にもご氏名の記載をお願いいたします。送られてきた回答用紙は他の方のデータと合わせたファイルとなり、個々人のデータを抜くことはいたしませんのでご承知おきください。

排泄に関する質問であり、ご不快になられることもあろうかと思いますが、ご容赦下さい。その場合にはご回答いただかなくとも構いません。

尚、この調査にご協力いただかなくとも不利益を受けることはありませんのでご安心下さい。

調査に当たっての危険性、不利益について；調査に当たって身体的危害や社会的不利益が生じることはありません。排泄に関する質問であり、ご不快になられる方もあろうかと思いますが、その場合にはご回答を中止して下さい。

ご回答いただいたアンケート用紙は国立障害者リハビリテーションセンター総長室の鍵のかかるキャビネットに保管し、持ち出しません。回答用紙は氏名欄と回答欄を切り離し、別々に保管します。パソコン上にデータ入力する際は、ケース番号にして匿名化（どのデータが誰のものをわからなくすること）します。カルテ内容と関連づける都合上、アンケートにはお名前を記載していただきます。ケース番号と個人名とを関連づけるためのデータファイルは別個に作成し、別に保存します。ファイル上、直接に個人が特定されることはありません。個人情報管理には十分注意いたします。

10年間の保存期間後、破壊、破棄します。

関連づけるカルテ内容は、診断名、損傷レベル、投薬内容、検査結果です。

調査結果の使われ方について；本研究の成果は研究報告書として発行するほか、学会、報告会、論文等によって公表されることがあります。すべて個人を特定できない形で統計学的に処理し、個人のデータが外部に公表されることは一切ありません。なお本研究は、国立障害者リハビリテーションセンター倫理審査委員会の承認を受けております。

研究費の出所と利益相反；この研究の費用は、「厚生労働行政推進調査事業費」から出されています。利益相反はありません。

「脊髄損傷者の排泄が生活に及ぼす影響に関する研究」研究班

研究代表者 飛松好子

＜＜本研究に対するお問い合わせ先＞＞

国立障害者リハビリテーションセンター
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
Tel:04-2995-3100（内線2000）

メール：tobimatsu-yoshiko@rehab.go.jp
担当：飛松好子

個人情報に関する苦情の申し立て先

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
企画課長 西村陽子 04-2995-3100 内線2140

メール：kikakurinri@rehab.go.jp

脊髄損傷による排せつ障害に関する調査 依頼書

排尿についてお聞きします。

1. 排尿行為（トイレに行く、衣服の着脱、尿を捨てる、尿器を洗うなど）を自分でできますか？

- (1) すべてできる (2) トイレの行き来を介助してもらう
(3) 衣服の着脱を介助してもらう (4) 尿を捨ててもら
(5) 尿器を洗ってもら (6) 排尿動作を介助してもらう
(7) カテーテル留置（膀胱瘻を含む） (8) 収尿器の付け替え
(9) おむつ替え
(10) その他 { }

2. ふだんはどのように排尿していますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 自然排尿 (2) 腹を押す (3) いきむ
(4) 自己導尿 (5) バルーン留置（常時） (6) 収尿器
(7) 膀胱瘻設置 (8) 反射誘発 (9) おむつに失禁
(10) その他 { }

3. どこで排尿しますか

- (1) ベッド上 (2) 車椅子上 (3) 自室
(4) トイレ (5) 浴室 (6) その他 ()
(7) バルーン留置 おむつ

4. 夜間はどのように排尿していますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 自然排尿 (2) 腹を押す (3) いきむ
(4) 自己導尿 (5) ナイトバルーン留置 (6) 収尿器
(7) 膀胱瘻設置 (8) 尿器をあてる (9) 反射誘発
(10) おむつに失禁 (11) 排尿せず
(12) その他 { }

5. 外出時はどのように排尿していますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 自然排尿 (2) 腹を押す (3) いきむ
(4) 自己導尿 (5) バルーン留置（常時） (6) 収尿器
(7) 膀胱瘻設置 (8) 反射誘発 (9) おむつに失禁
(10) その他 { }

6. ふだん一日に何回ぐらい排尿しますか？バルーン留置の時間帯は、開放回数と抜去を排尿回数と数えて下さい（例1：3回自己導尿、バルーン留置時3回開放、バルーン抜去の場合、計7回。例2：3回自己導尿、バルーン留置開放のまま抜去 計4回）。

- (1) 0回（バルーン留置、膀胱瘻、収尿器等） (2) 1～3回
(3) 4～6回 (4) 7～9回 (5) 10回以上
(6) その他（ ）

7. おむつ、パッド等を使っていますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 使ったことはない (2) 外出時使うことあり
(3) 夜間使うことあり (4) 常時使っている。

8. この1ヶ月、排尿を理由に仕事を休んだり、外出を控えたりしたことがありますか？当てはまるものを一つお選び下さい。

- (1) なかった (2) 1回あった (3) 2回あった。
(4) 3回あった (5) 4回以上あった

9. この1ヶ月、尿路感染（尿がいつもより濁る、熱が出る）を起こしましたか？

- (1) なかった (2) 1回あった (3) 2回以上あった

10. 1回の排尿にどのくらいの時間がかかりますか？（準備から後始末までの時間）

- (1) 10分以内 (2) 10～20分 (3) 20～30分
(4) 30分以上 (5) その他

11. この1ヶ月、尿失禁（おむつや下着が尿で濡れること）がありましたか。

- (1) なかった (2) 1回あった (3) 2回あった。
(4) 3回あった (5) 4回以上あった

12. あなたにとって排尿にまつわることはどのくらい煩わしいですか？

- (1) 特に煩わしくはない (2) 少し煩わしい
(3) 煩わしい (4) とても煩わしい

13. あなたは尿失禁について不安ですか？

- (1) 不安はない (2) 少し不安である。

- (3) 不安である (4) とても不安である。

排便についてお聞きします。

14. 排便行為（トイレに行く、衣服の着脱、座薬を入れる、排便する、おしりを拭くなど）を自分でできますか？

- (1) すべてできる (2) トイレの行き来を介助してもらう
(3) 衣服の着脱を介助してもらう (4) 排便を介助してもらう
(7) 人工肛門
(8) その他 { }

15. ふだんどのように排便していますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 自然排便 (2) 腹を押す (3) いきむ
(4) 自己摘便 (5) 肛門周囲刺激 (6) 刺激棒使用
(7) 座って出るのを待つ (8) 他者による介助
(9) その他 { }

16. 他者による排便介助はどなたに頼んでいますか？

- (1) 家族 (2) 訪問看護師 (3) ヘルパー
(4) その他 () (5) 頼んでない

17. どこで排便しますか

- (1) ベッド上 (2) シャワーキャリー上 (3) トイレの便座上
(4) 自室 (5) トイレ (6) 浴室
(7) その他 ()

18. 何時排便しますか？

- (1) 休日昼間 (2) 休日夜間 (3) 平日昼間
(4) 平日夜間 (5) その他 ()
(6) 決まってない

19. 排便にどのくらい時間がかかりますか？（準備から後始末までの時間）

- (1) 30分以内 (2) 1時間 (3) 1～2時間
(4) 2～3時間 (5) 3～4時間 (6) 4時間以上

20. 排便にお薬を使いますか

- (1) 使わない (2) 時々使う (3) 毎回使う

21. どのようなお薬を使いますか？

- (1) 飲み薬 (2) 座薬 (3) 浣腸液
(4) その他 () (5) 使わない

21. 旅行等外出時はどのように排便していますか？当てはまるものをすべてお選び下さい。

- (1) 自然排便 (2) 腹を押す (3) いきむ
(4) 座薬使用 (5) 肛門周囲刺激 (6) 刺激棒使用
(7) 人工肛門 (8) 自己摘便 (9) 他者による介助
(10) その他 { }

22. 人工肛門設置以外の方にお聞きします。ふだん何日に一回ぐらい排便しますか？一つだけお選び下さい。

- (1) 毎日 (2) 1日おき (3) 週2～3回
(4) 週1回 (5) それ以上

23. おむつ、パッド等を使っていますか？当てはまるものをお選び下さい。

- (1) 使ったことはない (2) 外出時使うことあり
(3) 夜間使うことあり (4) 常時使っている

24. この1ヶ月、排便を理由に仕事を休んだり、外出を控えたりしたことがありますか？当てはまるものを一つお選び下さい。

- (1) なかった (2) 1回あった (3) 2回あった
(4) 3回あった (5) 4回以上あった

25. この1ヶ月、便失禁を起こしましたか？

- (1) なかった (2) 1回あった (3) 2回以上あった

26. 便失禁を起こしたときに自分で始末ができますか？

- (1) できる (2) できない
(3) その他 ()

27. 便失禁したときの始末は誰に頼みますか？

- (1) 自分でできる (2) 家族 (3) 訪問看護師
(4) ヘルパー (5) その他 ()

28. あなたにとって排便にまつわることはどのくらい煩わしいですか？

- (1) 特に煩わしくはない (2) 少し煩わしい
(3) 煩わしい (4) とても煩わしい

29. あなたは便失禁について不安ですか？

- (1) 不安はない (2) 少し不安である
(3) 不安である (4) とても不安である

30. 何かご意見があればお書き下さい。

以上、ご協力をありがとうございました。

お名前 { }

生年月日 昭和 平成 年 月 日